次 = = 目 2.3面 60周年特集 第60回定期代議員総会 4~8面 議案書



1点目は、

海上自

(海自)

【発行】

厚木基地爆音防止期成同盟

発行責任者 石郷岡 忠男

事務所 大和市桜森 3-5-3 フォント 1F TEL 046-240-7450 FAX 046-261-5615

insinsinsins . 南関東防衛局から2点の通知があ りました。 2 月 12 H 大和市基地対策課に

順次「U-680A」に更新する 行っている「YS-IIFC」を、 航空基地の管制施設の点検等を とのことです 物資等の輸送を行っている「C-されている海自・航空自衛隊への 新というものです。硫黄島におけ 厚木基地に乗り入れている航空機 1」を順次「C-2」に更新する るFCLPの支援及び同島に配備 について、老朽化のため機種を更 また、海自厚木基地及び硫黄島

リコプター)の能力向上型を開発 をベースとする回転翼哨戒機(へ ということです。 しており、 2点目は、現在「SH-60K」 試作機納入後、 海自厚

す。

から新しい

9月5日(生)

爆同

成

6



厚木基地に乗り入れるC2輸送機

年を迎えます。先人の活動に学び ですが、 決意を新たにしようと、記念事業 楽しいアトラクションも検討中 厚木爆同は今年9月、結成60周

参加·

会場

ザ・ウィングス海老名

お申り

込み下さい

参加ご希望の方は、

各支部長に

会費

で $\frac{1}{5}$

概要は次のとおりです。

施するとのことでした。 木基地において性能確認試験を実 2020年度から22年まで、

る予定ということです。部隊人員 2機の能力向上型ヘリコプター哨 が出入りするとのことです。 は50名であり、 戒機の試験を、原則2~3日に1 回 (昼間、約3時間) そのほか技術者等 程度実施す

では「厚木 厚木爆同や厚木基地周辺自治体

くべき 設や土地に を求めてい 移駐によっ ついて返還 ます。岩国 を方針とし て空いた施 て掲げてい 基地撤去」 空いた で

対潜哨戒ヘリSH-60Kは能力向上型で試験飛行を予定



藤沢市への要請

日時 9月5日 (土) 式典 懇親会 11時から アトラクション

3 0 0 0 0 円 海老名駅徒歩7分 名 î 世帯2名ま

ちの思いに逆行するものです。 に基地機能の強化にあたり、 厚木爆同は3月25日、 南関東防 私た ともに要請、

部隊や新機種を配備するのはまさ

衛局に対し、

(情宣部 森

謙治

抗議行動に取り組み 詳細を問いただすと

フ市に要請 卒業式、入学式には飛行自粛を

教育長に対して卒業式、入学式の 和市、綾瀬市、 軍に対して要請活動を強めるよう 月、3月に厚木基地周辺7市 (大 時に爆音を出さないよう、国と米 藤沢市、海老名市、町田市)の市長・ 木爆同は各支部を通じて2 座間市、 相模原市、

入れを受けて、近いうちに要請に

行くという回答を受けました。

(情宣部

越川好昭

渡崎重信さんを偲ぶ



2月15日、逝去されました。享年 しますととも、 99歳。これまでの活動に敬意を表 表します。 厚木爆同顧問の濱崎重信さんが 謹んで哀悼の意を

も 一 た。 縁の下の力持ちのような存在でし ストにあり、 その頃濱崎さんは既に書記長のポ 984年第二次訴訟の頃でした。 もとより、 長のもとで厚木爆同の日常業務は 私が厚木爆同に加盟したのは1 切務めておられました。 第一次訴訟の事務方を 今は亡き鈴木保委員 常に



策による住民の生活被害に抵抗す 民でした。その市民が国の防衛政 く、道を誤ることなく組織を支え てきました。 したことのない、自営業を営む市 る闘いの中で一度も日和ることな 濱崎さんは如何なる政党にも属

活動の事務方の濱崎さんは、 いなく一本筋の通った人でした。 委員長のもとでの黒衣に徹する 間違

を飛ぶ軍用機に脅かされ、濱崎さ になったはずの日本で自宅の上空 けた戦いを強いられ、戦後は平 んはそれと闘う半生でした。 戦争に狩り出され戦地で命を 和

ださい。濱崎さんの後を後輩の私 願ったことを何年かかっても必ず たちがしっかり歩み、 崎さん、どうか安らかにお眠りく やり遂げることを誓います。 この世では闘いの毎日だった濱 濱崎さんの

厚木爆同顧問

日米地

ネル展が次のとおり開催され す。ぜひ、ご覧ください。 ている、日米地位協定を考えるパ 厚木爆同も実行委員会に参加し ま

【開催日時】

に申し入れを行いました。

藤沢市では、対応した副市長

か

市としては、厚木爆同の申し

会

大和市文化創造拠点

5 月 20 日 21 日 $\widehat{\mathbb{H}}$ 月 10 11 時 6 20 21 時 時

催 パネル展実行委員会 入場無料 シリウス1階ギャラリー

主

イに向かった米軍厚木基地所属のRF Bファントム偵察機が離陸直後に火 、千葉県房総沖の空母977年9月27日、厚 町に墜落。

子

民家を火の 供2名、

海にして重傷者

ラシュートで脱出。操縦士不在の偵災を起こし、2人の乗員は墜落前に 機は横浜市緑区 (現在の青葉区) 荏田 川県知事は当日、

全半焼家屋5棟、屋根の損壊など40件、 しました。 車両損傷17両という重大被害をもたら 飛鳥田一雄横浜

した。これは、

母親も82年1 で翌日死亡。重度の火傷を負ったその 厚木爆同は9月30日、 た国立武蔵療養所の精神病棟で死亡。 重症の子供2人は、搬送された病院 半ば強制転院させ 米海軍厚木航

告として、

して刑事告訴をし、

抗議声明を発表。

当時の横浜市長、

ためで、今日まで続いています。

どちらの事故でもパイロッ そのうちの2件は、 空施設に抗議文を手渡しました。 市 米軍厚木基地関連では、 の舘野鉄工所への墜落事故です。 の墜落事故を起こしています。 上げた町田市の 中心商店街、 集記事の トは墜落直 1 9 6 4 年 第



緑区墜落事故後

ものと感じられるようになりました。 77年に再び墜落事故を起こしたこと 厚木基地の危険がますます身近な 0)

1977年

害者を救う態度は微塵もありませんで 軍の利益を守ることを最優先とし、 米軍の利益を守る日米地位協定 この事故での米軍と国の対応は、 ブ

ではなく無傷の2人の米兵を乗せて基に向かいましたが、被災者を助けるの



は厚木基地を緊急発進して現場 海上自衛隊の救難ヘリコ

被害者の椎葉さん夫妻は米兵を被告と の側に立った対応をしました。また、 損害賠償を請求する民事 日本国と米兵を被

は大和市、 ると通告して来ました。1981年か対潜哨戒機P3Cを厚木基地に配備す 4年にかけて30機を配備するとい 綾瀬市に文書で、 自衛隊の



か 高まり、 ち込まれるのではな

基地配備反対決起集会」とデ 市へ 終日監視活動を繰り返し大 81年には大和市で「P3C厚、の全戸ビラ入れを行いまし 和市、 行進

動としては基地 へ の

 $\widehat{2}$

1980年~81年 炎上する民家 50 名 の 事故機のエンジンを米国に持ち去った10月には、米軍は日本政府に無断で で機体の残骸を吊り うにするためでした。米軍はクレ れは、事故現場に日本人が入らない なくなりました。飛鳥田横浜市長は 日本側は現場検証が出来ていません。 した。 大統領に書簡を送り、 クに積み込んで持ち去って行きました。 の返還を求めました。

本では事故の原因究明がで

き

事故機の

ソエンジ

米

P 阻止闘争 S S

0)

厚木基地に核兵器が持

14日には厚木爆同と神奈川護憲反安保次P3C配備阻止行動を開始しました。 開催。7日から、 県民実行委員会、大和・高座・相 3 C 配備阻止現地闘争本部結成集会を 務所を闘争本部として阻止行 止現地闘争本部」を結成。 各地区労が協力して「P3C配備阻 同年 厚木爆同として第一 いかと 止行動を展開 。厚木爆同事 護憲反安保 危 惧

対厚木基地訴訟県民集会」(6月)、 をひきおこす C反対厚木基地訴訟市民集会」「核戦厚木基地訴訟県民集会」(6月)、「P 集会を持って阻止行 民集会」

月)、「P3C配備阻止

核持ち込み

反

開しました。 4 回 の

:動を展

した。 ・厚木基地に着陸。強気かし、81年12月25日、 強行配備された。 **ま** 3



騒音は激化しました。住民の苦情が相 陸訓練)が厚木基地で始まったため、 る空母艦載機のNLP(夜間連続離着 982年2月から横須賀を母港と の政策が、 次ぎ、 特にNLPを実施する代替施設を建 厚木基地で行われている訓練のう 解消が強く要請されました。そのため、 し、そこへ訓練を移転させると 自治体からも国に対 1980年代に本格的に動 して騒音 いう

支援のため、三宅島へ

る国が敗訴した事も、代替施設へのな 爆音訴訟の一審判決において被告で た。 爆音訴訟において、騒音状況の改善に れます。高裁に審議が移った厚木基 転計画が始まった背景にあると考えら 地周辺での騒音 また、1 組む姿勢を示すためにも、 982年の第一次厚木基地 対策が急務となり 厚木並

三宅島の皆さんと交流集会

東周辺に提供することを日本側に正式 代替施設について、 ア カ側は関

> がったのが三宅島でした。 政府は早期の代替施設の建設を求めら に要請してきました。 日米防衛首脳会談では、 候補地の検討が本格化 LP代替施設の建設を強く要請 LP代替施設の候補地に挙 米国防長官 したのです。

第 309 号

三宅島住民と共闘

三宅島への建

設を阻止

案の白紙撤回を求める住民運動を展開 する会」が発足し、NL 島官民供用空港の誘致及び建設に反対 と反対派に別れ、 その受け入れをめぐって島民が推進派 施設建設計画が持ち上がっ なりました。 しました。 三宅島では、NLP代替候補地として 島を二分する紛争と たことで、 替施設建設 月に「三宅

き出しました。

厚木爆同は過去の墜落事故の被害の実 員や住民たちと協力して、 村会議員13名が視察にやってきた際に、 代替施設の建設反対を掲げて活動を展 地の騒音の実態を知るため、 厚木爆同は三宅島の反対派の村会議 三宅島への 三宅島の

厚木基地爆音防止期成同盟会報



厚木基地を包囲した

こうしてその後も三宅島の反対運動





を

て反対しなさい 国は買い上げてく ないと、次のような忠告を行いました。 まったらなかなか飛行場はどきませ はうるさいからと言っても、 をお願いしても、 よ。やるなら、 んお金でつられて飛行場作って、 「今まで我々がうるさいから移転補償 反対するなら今しなければなら 反対するなら、 公示価格 れない。仮にみなさ できて、 6割し 徹底 今度 そ ん か

た。 基地反対支援全国 団体と厚木爆同との協力は続き、 木爆同の代表が三宅島を 88年4月には反対派支援のため、 三宅島での強硬な反対運動によって、 日本政府は三宅島以外 代替施設建設は阻止すること 集会」 訪れ、 0) 三宅 場所 ま 厚 し島

りました。そこで、 建設することを模索せざるを得なく 代替施設を建設し、 硫黄島にN か が な 0



による基地包囲が成功したことが、基地で、基地撤去を求める『人間の 21日に沖縄の 『人間の鎖』 嘉手

カすることになり、88年1月から準備一 で完全包囲しようという計画が持ち上一 実行委員会では、厚木基地を人間の鎖 が進められ 実施された7 ました。

ること

間の鎖』で完全に包囲することにらも参加者が集まり、厚木基地を ならず関東各県からも、 県内の か

地を完全包囲!! 1988年

でした。

救助されています

訟を起こしています。 上で参考になり 対応を紹介します。 Ó で、 Ó

米軍や国と闘う 地に戻ってしまいました。 翌日、

に通報しませんでした。 日米合同の現場検証を行 事故の 発生を消防

県警機動隊30 動員で非常線を張り 緑警察署 したがそ 61 ま

大型トラ

ッ

ょ

厚木基地に駐機するP3C

22 オ

における基地である米海兵隊の22オスプレイ(オスプレイ)の、、米海兵隊の垂直離着陸輸送機

71,0~~

を超えている騒音が発

数

 $\widehat{70}$

ま

また、そうにおいていません。

こ の

:走路北1

地に関わる課題である日米地位協一方、組織強化にむけては、厚力を結集して取り組んできました。

厚木基

激しい

第 309 号

通知

(通称・

46 文書)

46

Ø

大

和

とが確認されています。に頻繁に飛来して訓練を行

って

V

るこ

請活動

 $\widehat{2}$

 $\bar{0}$

12 日

月

12

取り

組みま

米

大統領

移転後は、騒音がしると、米空母艦載機の岩国基地

、神奈川県と基地周辺9市で構は、騒音が大幅に減少しているに、米空母艦載機の岩国基地への

のて

厚

木基地にP

哨戒機を

を 201

哨戒機は、

開発段

階か

2019年度

屯地など

の基地を視察してきました。富士と、陸上自衛隊の駒門

ンプ富士と、

*合う場にしたいと思いま*と新活動方針を決定し、|

ます

では、

代議員の皆様の活発な討論により、

厚木爆同

の団

凶結と新たな前進を指め、この一年間の約

誓総総 括会

厚木爆同第60回定期代議員総会を5月9日

大和市渋谷学習センター

ホ |

ルで開催します

 $\widehat{\pm}$

午後

î

時

議案についてのご意見とご要望

通の 2 0年2月12日)、C-130輸送機に よる部品落下事故(10月5日、配備後 陸(2020年1月29日)などの危険 を (2020年1月29日)などの危険 な事故が多発しました。

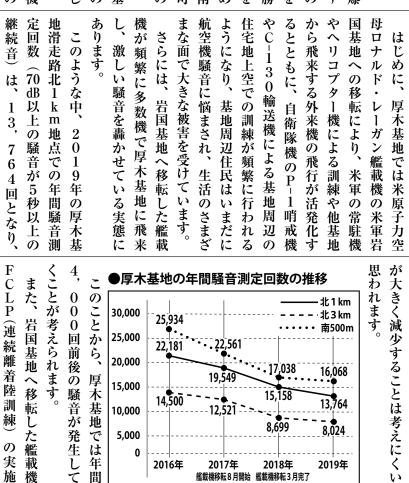
このような中、普天間基地所属のオルニのような中、普天間基地所属のオスプレイが岩国基地を経由する予定でしたが、機体にトラブルが発生したため伊丹空港に緊急着陸しました。そのオスプレイが翌日(4月2日)に厚木基地上空に飛来し、厚木基地に着陸した後

の発表が な目的でず

移転が完了した後、回数は、2018年 しての騒音測定回数になり この ます。 6 年3月末に艦撃 回と

思われます。が大きく減少する 減に留まっていることから、今後騒音測定回数を見ると騒音の減少傾向は微載機移転後の翌年の2019年の騒音 ることは考えにく

厚木基地をめぐる状況



令官への抗議と申し入れ行動に会員の関東防衛局長並びに米海軍厚木基地司の目視調査と騒音測定調査、防衛省南 飛行する航空機の実態を把握するため、

航空機騒音に悩まされ、

はじめ、第五次厚木基地爆音訴訟の勝航空機による爆音を解消させる活動を

た活動、

さらには厚木基地を

の 2

 $\widehat{2}$

0)

活動は、

厚

木基地の

木基地爆音防止期成同盟

(厚木爆

・活動をふりかえって

くことが考えられ このことから、厚古

の減少が顕著になっていた。 019年の騒音別定回数 万末に艦載機のこいう騒音測定 間を 艦数

の騒音が発生しては年間の

画には、硫黄島で訓練が実施できなFCLP(連続離着陸訓練)の実施 また、 岩国基地へ移転した艦載機

U た

い計の

は、支部長または厚木爆同事務 所までお寄せ下さい。

増加してきています。給のために厚木基地に飛

基地にいつどのような目的事からの飛来情報の発表が軍からの飛来情報の発表が

になったと言える状況ではありませ になったと言える状況ではありませ になったと言える状況ではありませ 練を実施するとしています。場合には代替施設として厚木基地で訓

のP-1哨戒幾の形式を手上自衛隊機のP-1哨戒機のB-1月25日)や、厚落事故(2020年1月25日)や、厚 のヘリコプター機M H‐60Sに厚木基地所属部隊の米空母艦載つぎに、厚木基地を拠点とし 艦載機部

飛来に関わる か、普天明なく、厚いなく、厚いなく、厚いなく、厚い 間る

では なく、 事 厚木基地に乗り入れているオスプレイ

イが目的も明らかにせずに率の高い空軍仕様のCV-基地所属のオスプレイでは きています。 地に飛来(0 的も明らかにせずに突如厚木 9月 -22オスプ 基 レ故

「一が発生して仙台空港に緊急着陸して後は北海道から帰る途中にトラース基地に補給のために飛来し、訓練を開から帰る途中にトラースを表し、訓練を表し、別に参加するため、行き帰りにある。 さらに、 オ スプ イは北 行き帰りに 海道で行 訓練 しル終厚

して許されるものではありません。かにせずに、緊急着陸したオスプレイが厚木基地に飛来したことは、基地周が厚木基地に飛来したことは、基地周のには、緊急着陸の原因と安全点検も明ら このことについて米軍や日本政府後に普天間基地にむかい離陸しました。2月11日)に厚木基地に飛来し、補給そのオスプレイが翌日(2020年 イら府

隊のジェットとともに、吐 場の海上自衛隊による共同使用に浜防衛施設局長による「厚木海軍 つぎに、 哨戒機配備反対 い行横衛る

安全性に大き あるとして オ本基 14年 P1は住宅近くを低空で飛び、騒音も大きい

れています 返さ ħ る 訓練が

指

損して

き た P

哨戒機は

2

0

私たちが安全性に問題が

た

地ら

o

配

備撤

版回を申

入れ

ら、厚木爆同はP-1哨戒機の厚木な問題を抱えた航空機であること

を

年か

ら数えて6

道目)

を起こしまし

この

ようななか防衛省は、P

|作機の試験飛行がはじ||配備をはじめました。

で落下させる事故0年2月12日に飛行

|る事故(正式運用の201||日に飛行中にエンジン部品

連日

行

わ

で引

たとして、 空機(C-0年2月12 年度中に実施することを通知 また、防衛省南関東防衛局 1輸送機など)が老朽化り入れている航空自衛隊の 航空機の機種更新を2 $\widehat{\mathbf{2}}$ 厚 0 し航

厚木基地爆音防止期成同盟会報

実働任務の

8年以降、P-

れ運用されてきましたが、今の拠点としてこれまでに25機年以降、P-1哨戒機の開発や作機の試験飛行がはじまった配備をはじめました。厚木基配備をない防衛省は、P-1哨戒

開発した、 ました。年間に、 も通知(2020年2月21日)してき年間にわたり厚木基地で実施することの性能確認試験を2020年度から3 さらに、 **ベヘリコプター機をベースに、海上自衛隊の回転翼哨戒機月12日)してきました。** 次期回転翼哨戒機の試作機

後は国内の他基地へ配備される機体や

要員の訓練の基地となりました。

海上自

1衛隊厚

生地だけ

哨戒機

空群第3航空隊) に配備してきたP

応鹿屋基地の第1:∞)を7月26日か

ポー航空群 いら段階 は (第4航

今後は、

トや戦術士などの搭乗員の業は、各基地への配備にむけ、

)飛行を厚

|木基地周

養成

基地に

配沖辺

航空隊に6機配備しました。

声などが力となったこと、さら 年を超える爆音解消の裁判闘争で「受爆音解消の運動の成果であり、特に40このことは、私たちの長年にわたる 岩国基地 61 0) 限度を超える爆音」「健康被害 八の移転が完了に破が2018年 さらに などの しました。 市民の

厚木基地に駐留する米空 末までに を

国を動かしり、対決を勝ちり

がアメリカ本土から空輸され、点となり、大統領専用へリコプが来日した際には、厚木基地が に関わらず頻繁に離着陸を行いまリコプター機や大型輸送機などが昼の送迎に利用されるとともに、大型 また、5月 25 日 にト ランプ プコプター機単地が輸送拠

大統領

て取りやめたことが11月6日の新聞にと米大使館への直接の要請活動を初め、が、知事と9市長・議長らによる政府成している厚木基地騒音対策協議会

目視調査と騒音測定

東防衛局長に抗議と申し入れ①米海軍厚木基地司令官と防衛省南関 まざまな活動に取り組む

が増大しています。 り、深刻な爆音被害を受け不満と怒りた艦載機が頻繁に飛来することによ基地周辺住民は、岩国基地へ移転し

に意見交換を行いました。の今回の行動の真意を確認す

策課を訪れ、厚

木基地騒音対

策協議会

④第五次厚木基地爆音訴訟を支援

策、さらにオスプレイの飛来中の原因究明、部品落下事故の再を航空機やヘリコプター機の墜 | については、4 成の再発防止 での の の の を 落事故 | 8年3月末までに山口県の米軍岩国基| 電子戦機などの航空機1機は、201 | 載機のFA-18戦闘攻撃機やEA-18 G

ト機の飛来が確認されてい

ること、

か

測定器

移転後も依然としてジェ

地へ移転しまし

等の卒業式さした。 岩国基地へ移転した艦載機が頻繁に 岩国基地へ飛来している中、3月上旬 は 切な学校行事が爆音によ等の卒業式や入学式の時から4月上旬にかけては の進行に支障を及ぼ百によって一時中断式の時期であり、大 実態が分からないこともあり、機種や所属、飛行経路など、騒よるデータの数値だけでは、航

などの と 関飛

Ø)

O

実態を

は

め

3る低空飛行われてい 「一1哨戒機

自

の離着陸型

によった。

地

| 「原木爆同と第五次原告団は、この新聞報道の事実確認を行うために、大和問報道の事実確認を行うために、大和明明(11月4日)、そして、 ぞれの基地対 た 訓練などの 実態が かになり

来、第五 厚木 もどすため 次厚木基地爆音 爆 D な 闘争を支えてい 6 (昭和51)年 静 な空 を

査と騒音測定調査 ③厚木基地を飛行する航空機の目視調

と言語から門前払いが続き、第 と言語から門前払いが続き、第 を退ける決定をしましたが、これまを退ける決定をしましたが、これま ました。 米軍機 飛行 差 めに つ れ ま で 上 告 ては、

の 一 の の た で 破壊して きた 航空機 騒音や 墜落など で 破壊して きた 航空機 騒音や 墜落など で は に、 基地周辺住民の 日常生活と健康 わせて闘いを進めてき基地爆音訴訟原告団の危険を解消させるた 私たちは、 自治体 を進めてきました。 Ø 悲願で る米軍機及び も基地周辺住 自民

もあり、

り、昨年に航空機の

定調査などの活動を動や、航空機の飛行把握する「爆音カレロ頭弁論をはじめ転 また、 頭弁論をはじめ航空機騒音 航空機の飛行目 レンダ 訴訟勝利にむけ、 視調査と騒音測 の記入行 実態を

51航空隊が初心者パイロことから、基地周辺の4

木基

夜間・チ・出上

-ロット

の上

(5) 2020年4月8日

空を第51航空隊がこのことから、

縄県の那覇基地などの全国への上空で行い、青森県の八三と機体試験などの飛行を厚め

また、

序木爆同議員: 基地周辺自:

連携料

る実態が明らかになってい

ます

ない

静

も積極的に参加し、各訴訟団の勝利会議や政府交渉、訴訟支援行動などともあり、全国基地連の役員として 地爆音訴訟原告団連絡会議は、厚木いる8つの原告団で構成される全国 どに連携して取り組んできました。 同が各原告団に呼び掛けて結成したこ また、 全国で基地爆音訴訟を闘って 厚木爆 にに諸 基

市基地対策協議会や綾瀬市基地対策協立ならに、自治体が設置している大和いけ行動してきました。 を自治体に反映させてきました 員会などに役員を派遣して私たち 0 声

2。主な活動

会員拡大の取り組み

活動が強化され である爆音 し結集することにより、私たちの 多く 会員の拡大活動につ 0 **ることにより、私たちの願い人々が厚木爆同の趣旨に賛同** 0) ない 静かな空を取 て 2 戻す

部活動に取り あり 織あげての会員拡大活動やこま 年度に ○世帯となりました。 0) ました。一 ような結果となったこと 入会され **るものと反省をしなければな取り組むことが出来なかったの会員拡大活動やこまめなま** 方、 た会 退会さ は れ Ö た会員 ○世帯で は、 なた支組 は



支部会議と支部の で組み

や支部活動の活性化にな支部会議は、支部が拘 取り 要望をこれ 2 組みです 9年度の支部会議は、 からの活動に活 が抱えている。 ててのい か して 六 意見や る いく つ 課題

べての支部での開催には至りませんで1/31、相模原2/8)に留まり、す 支部での開催(町田 座間7 3、相模原2/8) 1間7/10、綾瀬11/ こに留まり、すると名 23 藤沢 0)

8月4日)されました。会が海老名支部で開催(会が海老名支部で開催(7月19日から12月14日)されるとともに、平和映画講演会が町田支部で開催(4月21日と また、支部主催による活動としては、

(3) N HK受信料全額助成の取り組み

んが、 んが、 が、 でもの 地域の スが受けられないため、爆音の解消音がかき消され、まともな放送サー むけ た活動のひとつとして、 **凶が全額負担することなのNHK受信料を爆音の** 航空機の爆音によ ・爆同は、 を否定す N H 9るものではありませ(HK放送受信料制度 いってテ で求め、なるのができます。 爆音被 レビ 会で害にビの

熱心な議論をする支部会議 受信料の て員 NHK放送受信料の全額助成にむけ一人ひとりの意志に基づくものとし の不払い活動に取り組んで (J ま

に、NHK受信料問題の問答集を作成の学習会を11月30日に開催するとともの学習会を11月30日に開催するととも示されたため、会員間に不安の声が高 題 高 が

一方、NHKが委託してして全会員に配布しました 成も

は、NHK横浜放送局かながわさらに、NHK受信料問題に 3日にも行いまし センターと意見交換を20 さらに、NH た 2 0 年西はい 業

基地視察の

マ 2019年度の基地視察は、私たちで が日頃から墜落事故の不安に悩まされている米海兵隊のオスプレイの本土に 富士と陸上自衛隊の駒門駐屯地を、10 月9日に多くの参加者と視察をしましった。 悩まされ し 10 プ



キャンプ富士を視察する会員

5 学習 学習会の取り組み 会 員

きして、11月30日に多くの会員の参加と私たちの身近な課題である日米地位と私たちの身近な課題である日米地位 で行 いました 皆さんから多く Ó

流会を開催するため、記念事業の準備の糧にすることを目的に記念式典と交先人たちの活動に学びこれからの活動 会を設置して準備を進めてきまし か結成されてから60 来年度の20201 厚木爆同60周年 Ó 歴史を振り を迎えます

周る そして、

2

车

動方針

を

踏

以

^{報告を受}

行

61

組織部の取り組

て取り組みを進めてきま 周年記念式典と交流会」

門部と委員会の



織部、③情宣部、④調査部)と行動企画ために4つの専門部(①総務部、②組厚木爆同には、組織を運営していく ました。 委員会を設置して活動に取り 収り組 祖んでき

総務部の取り組み

すが、厚木爆同運動も今の厚木基地を移動したのだから当然と言えば当然で、様相が少し変わってきました。61機の様が多いである。61機ののでは、様相が少し変わってきました。61機ののでは、様相が少し変わってきました。61機の 見ながらの運動になります。 でしょう。移転に伴って空いたス基地整理・縮小のチャンスに成り ウこそが 今こそが

す。今後の窓であかが重要に、めに何を為すべきかが重要に、スは返還してもらいましょう。ユ

 $\frac{2}{0}$

8年には、

各支部長に支部交

てな起言し

いても引

き続

なり

結成60周年記念事業の取り組み 8周年 一度は、 厚木爆同 返り、 付金についてのアンケートを頂きました。結果はあまり透明性が高いとは言えない状態でしたが総務部の問題提起もあり、領収書等の保管など基本的なもあり、領収書等の保管など基本的な や役員同士の づくりはこれからも課題の一つです。本部・支部・会員が一体となった体制強化につながっていると思われます き検討していく課題です

準備会の内容を執行委員会して準備を進めてきました。

の交流などが、

支部活

動

の催

年記念式典と交流会」の成功にむけ「厚木基地爆音防止期成同盟結成60げて、2020年9月5日に開催す た 通じ、厚木爆同運動の認識の共有化にがっています。支部ニュースの発行を部役員の担い手づくりが課題としてあ ました。組 長から支部活動の取り組みの報告を組織部会を3回開催しました。各支下のことを取り組んできました。 支部会議の開催は、 組織強化 拡大の 6支部の 一験交流を

みの

をあ支開



NHK受信料と地位協定の学習会

えます。 には私達の る現実を注視しなけ 部品落下 上空を我が物顔で飛んで ばならないと 示さ れ 考 V

基地8訴訟団で爆音訴訟が行われて

達の上空で訓練していると思うと空恐ます。初心者マークのパイロットが私厳しく監視していく必要があると思い部隊となり全国で展開している現状を つながる可能性がなます。これも一つ問 部隊となり全国で展開してしても厚木基地がP-1哨ポ ろしくなります 米軍だけでなく自衛隊の航空 ねり している現状な哨戒機の教育 一機に対

を守るためこれからも闘いを強めてまます。静かな空と、安全・安心な生活を進めて行かなければならないと考え返還という大きな目標を目指して闘い まいりました。色々な場面でそ全・安心な生活を求めて運動を厚木爆同はこの60年間静かな 理縮小へと運動を強め、 今一度原点に立ち返り、世の成果もあげて来ました。 厚木爆同はこの **らも闘いを強めてま** 、安全・安心な生活 目標を目指して闘い 強め、最終的に基地 強め、最終的に基地 強め、最終的に基地

2.活動の基本方針

航空機騒音の解消と基地機能 の

転しました。当然厚内 基地から軍人等3800人が 基地から軍人等3800人が す解。消 返還を求めていきます。大和市・ニます。使わなくなった場所は速やペースを含めて空いた施設が出来 市の騒音デー 自衛隊機も含めてこれからも00回以上の騒音を記録して 当然厚木基地 夕では移転後も年 は は住宅ス中間1万市・綾瀬市・綾瀬市・綾瀬 厚木

る支部や学習会・講演会・ 、る支部 もあり ŧ て行 ってきました。

第309号

映 取

欧画会に取り組んで

41

取り

組

んで

業成功に、

厚水

り意思統一、爆同結成

を 行

き

ま

一周年

一記念事

3

原木爆同の運動について会員の理解 と交流をはかるため、会報の定期発行 に努め、第303号から第308号ま で2か月に1回発行し、全会員に配布 に要め、第303号から第308号ま しました。内容についても厚木基地の 関本場回の運動について会員の理解 2019年は年 騒音が記録されています。 隊機と米軍ヘリコプ 経ちます。 したが同じ枠組みで行いました。一回目の時よりは期間は短く 視行動は20 8年から行われた目視による航空機監静かになったのかということで201 なったと宣伝して 米空母艦載 ちます。国が言う厚木基地は静かに木空母艦載機が移転になって2年が) 行動企画委員会の取り組み 9年は年間で13 目の時よりは期間は短くしま 19年も取り組みまし 大和市の騒音 いることに、 の訓練は激し 6 4 回 本当 自衛 のは

さらに事故率が非常にているのも確認できましが舞い戻って来て、騒音 に事故率が非常に高 **冷って来て、騒音をまき散ら移転したはずの米空母艦載** スプ いらし機

厚木基地爆音防止期成同盟会報

控えて

、ましたので、60周年を振り返厚木爆同結成60周年を今年に

また、

の声が届くようにしました。いて!」のコーナーを新設

を新設して、

会

る特集記事を担当しました。

り組むことができませんでした同のホームページ」の内容充宝一会員への情報発信としての一 り組むことができませんののホームページ」の中

容充実

に

実には取「厚木爆

□ 全点検もせずに飛来したことに何の説明もありません。私たちはこれからも 明もありません。私たちはこれからも 立 | さらすことであり決して許されていることは、基地周辺住民を ではありません 米軍や日 いることは、基地周辺住民を危険にます。トラブルを抱えたまま飛来しが幾度となく厚木基地に飛来してお 本 政府 0) れ ること ラ

6 の 取り組み 結 成 60)周年記念事業実行委員会

哨戒機などの離着陸訓練が頻繁に行隊機の定期飛行の実態をはじめ、P-

わ 1

今

回は期間を短くしましたが、

自

衛

て

実態が明らかになりました。いることやヘリコプターの

低空飛

空機の目視調査と騒音測定調査を2

8 年

度に

大々的に行

つ

た

0 航

あ

ず

ら実行 結成 委員 周年記念事業 会へと移行して、 0) 準備委員会 現在着々

い外来機と呼ばれるジェット機も増え 音を繰り返し、本来厚木基地所属でな、 空母艦載機もたびたび飛来し激しい爆、 早朝や夜間の飛行も連日行われ、米 実行委員会では、総務委員会と記念と準備を進めております。 は分 誌委員会 の野で活 **部と組織部が担当して、参店動しております。総務委会の二つの委員会がそれぞ** して、参照 ぞれ 加体 0)

| や資料と写真の収集などの準備を進め部と調査部が担当して、記念誌の作成おります。また、記念誌委員会は情宣制とか会場の手配など順調に推移して ています。 め 宣 転です。軍人、

また厚木爆同の運動が

大きな成果と

る

陜、軍属3800人のが空母艦載機の移

つ間違えると大事

故に

で企画 を、 先輩たちが築いてき 後々まで記憶に残せ ます た 60 るように全元の年間の思い 力い 地の整理・縮小そして基地返還への第基地内には当然空いたスペースが出来た訳です。この事こそ厚木爆同が60年た訳です。この事こそ厚木爆同が60年

2020年度の

厚木爆同は今年結成60周年を迎えま

定している騒音計では年間1万300 線を行っています。空母艦載機が移転 な C-130輸送機の部隊などが連日訓

1.活動の基調

コプター部隊と自衛隊のP厚木基地は現在、空母艦

衛隊のP-1哨戒機、 、空母艦載機のヘリ

一歩であると考えます

まりにも長 60年という年月は住民運動として い年月です。 諸先輩たちが

一汗と涙で闘ってきた輝かしい歴史でものあります。各省庁への要請行動、基地で市民へのアピールのためデモ行進も数多く開催して来ました。三日間の予定で座り込み行動も行いました。三日間の予定で座り込み行動も行いました。三日間の予定で座り込み行動も行いました。国はなやっと重い腰を上げて私達との話し合なやっと重い腰を上げて私達との話し合ないに応じ厚木飛行場周辺の航空機の騒音軽減措置の日米合意やNHK受信料 動を行うようになり現在も活動してお政が一体となって、国に対して要請行は基地対策協議会を立ち上げ市民と行 の半額助成等の成果を得たのです。 これをきっかけに大和市、 綾瀬市で

故原因

私達の

リコプター

ターが沖縄で墜落しました。基地に残った空母艦載機の

ら生活している現実があります。厚木私たちは常に墜落の恐怖を感じながの回以上の騒音が記録されています。

| 一ている爆音訴訟は全国に広がり、現在の と繋がっています。40数年に渡り闘っれ、現在の第五次厚木基地爆音訴訟へにわたり爆音は違法であると断じら ます 9 いの 0) 段として



基地司令官への要請行動

(2) 航空機の墜落防止・部品落下に

に、安全対策を強く求めてまいります。 らも断固とした態度で抗議するととも 全・安心な生活が送れるよう、これか なければならない現状があります。安 ちは常にこのような危険と共に生活し 違えると大事故につながります。私た 多く記録されています。これも一つ間 現状に怒りを憶えます。部品落下も数 密集地の上空を低空で飛び回っている す。原因究明がなされないまま、住宅 なかったように飛び回っていることで 型機が私達の上空を次の日から何事も 沖縄で墜落しました。許せないのは同 厚木基地所属の米軍へリコプターが す。

るよう、全力で 取った飛行差し 支援していきま 支援の取り組み 木基地爆音訴訟 第四次訴訟高 めが認められ 判決で勝ち

第五次訴訟 横浜地裁

(4) 第五次厚

還への取り組み (5) 厚木基地の整理・縮小、基地返

ます。基地周辺の自治体と連携して運 軍住宅や施設などの返還を求めていき 動を進めてまいります。 空母艦載機の移転に伴って空いた米

動の取り組み (6) 平和憲法を守り、反基地平和運

協定の抜本的な改定を求めて行きま 全力で取り組みます。また、日米地位 世界に誇れる日本国憲法を守るため

(フ)諸団体と連帯

(3) オスプレイ飛来阻止の取り組み

日本に配備後もオスプレイの事故率

| うか、さらに日本の民主主義を前進さ | とは、厚木爆同の目的と一致するかど して行動していきます。その他の団体 していきます。 せるの観点から総合的に判断して対応 神奈川平和運動センターなどと連帯

(8)組織強化の取り組み

り組みます。各支部は組織を強化する かります。また若年層の入会を進めて ため、支部会議等の充実で活性化をは まいります。 組織強化のため、会員拡大などに取

は絶対許さないため、監視行動を強め

てまいります。

ます。厚木基地のオスプレイの拠点化

部ではオスプレイの拠点化の話があり 場で監視行動を強めてまいります。一 す。オスプレイの飛来に絶対反対の立 練では必ず厚木基地を中継して行きま りました。北海道、東北等での共同訓 練が増えてオスプレイの参加が多くな が頻繁に飛来しています。日米共同訓 が上がっています。危険なオスプレイ

(9)NHK受信料全額助成の取り組み

ります。 き受信料の全額助成を国に求めてまい 従来通り爆音が無くなるまで引き続

10 自治体との連携強化

これからも連携を強めて行くことが大 は、各自治体も私達と同じ考え方です。 基地の整理縮小・全面返還にむけて

を追求します。



| めてまいります。 議会に引き続き参加し、市民と一緒に 爆音解消、基地返還にむけて運動を進 事です。大和市、綾瀬市の基地対策協

(1)結成6周年記念事業の取り組み

作成や、心に残る式典にするため全力 す。活動の足跡等をまとめた記念誌の で取り組みます。 委員会等で着々と準備を進めていま 昨年実行委員会を立ち上げ、各専門

(12) 財政安定化の取り組み

の節減につとめます。 財政の安定化にむけ、 引き続き経費

3.専門部と委員会の活動

(1) 総務部

②厚木爆同結成60周年記念事業成功 ①厚木爆同運動が円滑に進められるよ のために全力を尽くします。 う、本部と他の部との連携を強め、 取り組みを進めます。

に情宣するた

④会員一人ひとりが ③今後の活動のため各種資料を収集 戻そう」と地域の仲間と共有できる よう取り組み 整理します。 「静かな空を取り

座間市へ要請

④各支部は独自の学習会・集会などの ③学習会や集会など、会員に声を掛け ②会員同士の顔が見える組織づくりを 開催をめざし、会員相互の親睦をは 部長を中心に呼びかけを行います。 し、会員相互の交流をはかります。

⑤各支部は独自の支部ニュースの発行 に取り組み、会員相互の連携を密に するよう務めます。

(3) 情宣部

めます。厚木基地の問題を深掘りする ように努めます。 と交流をはかるため、会報の発行に努 厚木爆同の運動について会員の理解

理・運営の研修会を企画します。 同の新たな運動の構築と厚木基地の実 トの改定に取り組むとともに、厚木爆 厚木爆同ホームページの充実のた また、会員拡大のためのパンフレッ 情宣部員むけにホームページの管 態を広く市民



2 組織部

①前年度に引き続き組織部会を適宜開 催し、組織拡大・強化に取り組みま

合い積極的に参加できるよう、各支 めざして、年1回は支部会議を開催 かります。

を広めるため、情宣部と連携して取り 事なことなので、厚木爆同議員連絡会 組みます。

(5) 行動企画委員会

うに運動を進めてまいります。 私たちは一刻も早くこのような状態か しなければならない現実があります。 は常に墜落の恐怖を感じながら生活を 終了後も以前と変わらず騒音をまき散 同は今年60周年を迎えます。 ら脱却して、普通の暮らしが出来るよ らしています。部品落下など周辺住民 厚木基地では、米空母艦載機の移転 厚木爆

新たな課題を考えながら行動を起こし などはそれ以降になると思いますが、 の変化を見ながら対処して行きます。 て行きたいと考えています。厚木基地 して全力を傾けて行きます。監視行動 9月の記念式典までは実行委員会と

ウォッチングも情宣部として企画して いきます。

(4) 調査部

しても必要なことだと思います。 は、厚木基地の変化を見るのに、どう 航空機の目視調査と騒音測定調査

整理縮小にむけて運動を進めるべき えていかなければならない時です。 の年であり、運動の内容も少しずつ変 厚木爆同が結成60周年という節目 原点に立ち返り、今こそ厚木基地の

だと思っています。 また、基地視察は、情報収集や見聞

で、そのためにこの調査は大事なこと

ていきます。 議の協力を得ながら、情報収集を進め さらに、行政からの資料の収集も大